

190万人の思い

時任 真由美さん 45

三島町

昨年十二月三島町移住、研究を積み重ね、住み、養蜂家として第二の生活拠点を築き、人生を歩み始めた。移住の動機は約二十年前、都内の印刷高い蜂産を生産したいと自会社に勤めた。ミツバチ

の生産に興味を持った。めい（一五）年成二十五年に会津若松市に引っ越し、養蜂会社の研修生となった。今年四月に三島町で「時任養蜂園」を立ち上げた。蜂産の採れ合は、花の

養蜂技術の研究重ねる



養蜂家として第二の人生を歩み出した時任さん

生育状況や気象によって左右されやすい。このため、ミツバチの様子や周辺の環境をきめ細かく観察しながら蜂産を進めたい。町産の蜂産はあまりがよへ、すっきりとした味わいが特徴だという。早く一人前の養蜂家になり、地域の誇りに技術を受け継いでいきたいと願っています。

この紙面への情報をお寄せください 福島民報社編集局 024(531)4122